

## アルメニア UWC ディリジャン校 指岡 さん

留学期間 R1.8～R3.6 (2年間)

## 1 留学の成果

昨年8月に、期待と不安を胸にアルメニアに渡って始まり、未知のウイルスの流行による予想しなかった終わり方を迎えた、UWCという特異な環境での留学1年目は、様々なことがあり、多くのことを学んだ激動の1年でした。

まず留学当初は、全て英語での生活に戸惑いました。日常会話程度であれば、ある程度は聞き取ることができたものの、授業で使われる単語などはやはり少し難しいため、全く授業についていけないようなこともよくありました。しかし、何度も聞き返すうちにだんだんと分かるようになり、現在ではほとんど問題ありません。プライドを捨て学ぼうとする姿勢の大切さを、身をもって体感しました。

また、UWCは多様性に富んだ学校で、世界80か国から生徒が集まっています。そのため、話す英語のアクセントも様々で戸惑いましたが、言葉だけでなく、文化や価値観なども多種多様です。日本人の自分にとっての当たり前が、他の国の生徒からすると当たり前でないことは日常茶飯事で、驚きの連続でした。ニュースが日本と海外とでは違う報じられ方をしていたり、外国での出来事が日本ではそもそも報じられていなかったりしていることを知り、自分が無知であることを痛感するとともに、一つの物事でも、批判的に、そして様々な視点から見ることの大切さを学びました。価値観が変わるとはということなのかが分かった気がします。

他にも、日本ではできなかったことを色々経験しています。例えば、地域への貢献活動として、子どもたちにサッカーや英語を教えました。また、2学期には友人二人とともに、科学を教える活動も新しく立ち上げました。更には、アウトドア活動で、セーリングやケイビングなど、非常に珍しい体験もすることができました。将来どんな形で役に立つかは分かりませんが、多くの経験をし、新たなことにチャレンジすることは非常に価値のあることだと信じています。ですから、次年度もチャレンジ精神を忘れず、多くのことに挑戦していきたいです。

留学2年目は、プレゼンテーションや論文の作成、そして大学受験が待っています。また、男女への平等なスポーツの機会を促進することを目的としたサッカー大会の開催も考えています。忙しく大変な一年になるとは思いますが、これからも気を抜かずに精進していきますので、どうかよろしく願いいたします。

## 2 履修状況、課外活動等

## (1) 履修科目

- ・ Japanese self-taught (Standard Level)
- ・ Spanish ab initio (Standard Level)
- ・ Math analysis and approaches (Higher Level)

- ・ Economics (Higher Level)
- ・ Physics (Higher Level)
- ・ Chemistry (Standard Level)

## (2) 課外活動および受賞歴等

- ・ アウトドア活動（セーリング、ケイビング、スノーシューイング等）
- ・ 地域貢献活動（子供たち対象の科学実験教室、サッカー指導、英語指導等）
- ・ スポーツ（サッカー、バスケットボール、フリスビー等）

## 3 今後の活動予定

次年度は勉強のレベルも上がり、大学受験もあるため、気を引き締めて留学生活を送りたいと思います。UWC 卒業後はアメリカの大学へ進学し、世界最高水準の学習環境で、ビジネスを学びたいと考えています。就きたい職業は具体的には決まっていますが、将来は、多様性に富んだ UWC での経験を糧に、グローバル化が進む世界を股にかけて活躍し、自分にしかできない方法で社会に貢献していきたいです。

## 4 記録写真



スノーボードの講師をした時にスキー場にて。留学生の中には、アルメニアに来て雪を初めて見る生徒も少なくありません。左からパナマ、エストニア、日本（自分）、カナダ（香港）、ブルガリアの留学生たち。

African cultural evening にて。

南スーダンのパフォーマンスでアフリカの伝統楽器（ジャンベ）を演奏している様子です。





3月下旬に行われた卒業式にて友人たちと。左から日本（自分）、スペイン、ソマリア、ノルウェーの留学生たち。